

受精卵課通信 No.38

こんにちは、受精卵課の筒井です。

もうそろそろ、昨年の10月から始動した顧客農場さんでの集中 OPU から一年が経とうとしています。一年が経つと同時に、データも少しずつ溜まってきました。

そこで、今回はそのデータの中から OPU を重ねるごとの卵子の回収数と発生率の変動を簡単にまとめてみました。

OPU の回数を重ねていくと、回収される卵子の数が減少していているのが体感としてあります。当ラボでは、1 ドナーに対して2週間に1度 OPU を行っています。卵巢の回復状態や、ホルモン耐性など卵子数が減ってってしまうのは必然的と考えられます。

回収させる卵子の数が減っていくとはいえ、どのくらい減っていているのか？が気になったので、データをもとに簡単なグラフを作成してみました。

1 ドナーに対し、初回の OPU から5回分ほどの卵子回収数と発生率をまとめるつもりでしたが、そもそも5回も OPU している牛が限られてしまうことや、卵巢の回復を待つために間隔を空けている牛などがいるため、条件を次のように揃えてみました。

- ・ OPU の間隔が1か月以上空いていない牛
- ・ 3回分の回収数、発生率
- ・ 昨年10月～今月までの OPU

まとめた結果が右のグラフです。

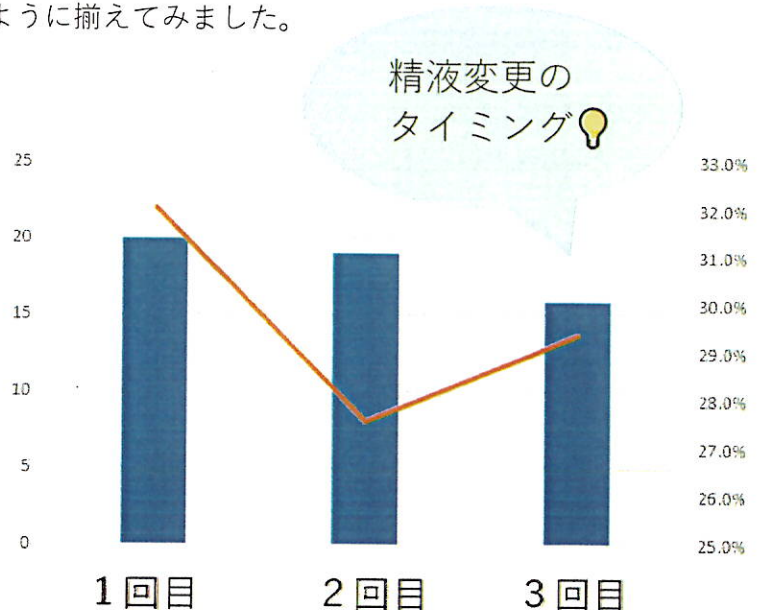
棒グラフが卵子回収数、折れ線グラフが胚発生率です。卵子回収数は、平均で20個→19個→16個とやや減少傾向を表しました。

3回分という少ない OPU 回数だからか、思ったよりも卵子回収数の変化はみられませんでした。

また、胚発生率ですが一番発生率が落ちると思われた3回目が2回目よりも上昇しています。

これは、体外受精時の精液との相性を考慮し、3回目で精液を1, 2回目のもから変更したためと考えられます。OPU 1回目、2回目と発生率が立て続けに悪い場合、その要因の一つとして卵子と精液の相性が悪いということが挙げられます。その回避策として、当ラボでは相性が良くなさそうなら精液を変えてあげてをしばしば行っています。実際データをまとめながら精液も見ていましたが、3回目で精液を変更している回数は多かったです。そのため、このようなグラフになったことが示唆されます。本来ならば、条件で精液も三回とも統一させなければならいのですが、そうなってしまうとn数がかかり減ってしまうので、今回はこのような条件でまとめさせていただきました。

恐らく5回分くらいにしたらもっときれいなグラフになると思うので、またデータが集まり次第報告できたらなと思います。読んで頂きありがとうございます。



筒井